



和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：0725（41）1551

和泉市議会ホームページアドレス：<http://gikai02.kaigiroku.jp/izumi/index.html> E-mail：gikai@city.izumi.osaka.jp



東京オリンピック聖火リレー（和泉市役所 正面玄関前）

和泉市制50周年記念 写真コンテスト「和泉百景」での入選作品

平成18年第4回定例会を開催

和泉市基本構想の策定

平成18年第4回定例会が、12月4日から12月15日の12日間の会期で開催されました。

今定例会では、「地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について」など、議案17件、報告2件、諮問1件、議員提出議案の条例改正1件・意見書4件等が可決等されたほか、第3回定例会で上程され閉会中の継続審査となっていた平成17年度各会計決算についても、それぞれ認定されました。また、14人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

平成17年度決算を認定

歳出総額 1,023億9,251万3千円

第3回定例会で上程され継続審査となっていた平成17年度各会計決算は、閉会中の11月6日から10日までの5日間にわたり決算審査特別委員会が開催され、慎重な審査が行われました。

12月4日の本会議では、委員長より審査の結果が報告され、反対・賛成討論の後、賛成多数で認定されました。

●反対討論●

財政健全化にあたっては、市の内部努力を優先させ、市民負担は最後の手段にすべきだと主張してきたが、粗大ごみの有料化や幼稚園保育料の値上げなど、新たな市民負担が発生した。同和・人権関係では、同和行政の不公平さが正されることなく、人権行政の名の元にNPO法人への委託料や人権協会助成金が引き続き支出されている。他にも、見通しが明らかでない支出があるため反対する。

●反対討論●

農用地整備事業について、農業の生産性を上げるための区画整理は理解するが、緑を削っての農地造成と新たな農道の建設は全く理解がたい。エンゼルハウス事業は、入札に関し透明性・公平性に欠ける点があった。さらに元管理職、元特別職の退職金返還に関し、長期間の返済を認めたことは身内に甘い措置だ。住民からの税金を報酬の原資とする公僕にあっては考えられない。よって反対する。

●賛成討論●

国の三位一体改革の影響による財源不足が続く中、財政健全化計画初年度として収支の安定化と財政構造の改善に向けた取組みを着実に進めるなど、第3次総合計画に掲げられた主要なプロジェクトの実現に向けてまい進されている。

道路・公園など都市環境を整備するとともに、安全なまちづくりを目指し、防災・防犯対策の充実が、生活環境づくりでは、ごみの減量化や資源循環型まちづくりの推進がそれぞれ図られている。さらに、少子高齢化社会への対応として地域福祉総合相談員配置促進事業や子育てなんでも相談事業などによるセーフティネットの拡充等、幅広い生涯福祉環境づくりや就労支援施策の充実、生涯学習環境づくり等、市政全般にわたり市民福祉の向上を図るため、数々の施策がソフト・ハード両面で積極的に展開されている。

今後も更なる財政構造の改善・強化を図り、より簡素で効率的な施策を展開し、市民が本当の豊かさを実感できるまちづくりを望む。

一般会計決算

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●平成17年度和泉市一般会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成17年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全云云致)
●平成17年度和泉市老人保健事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成17年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全云云致)
●平成17年度和泉市下水道事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成17年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全云云致)
●平成17年度和泉市水道事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全云云致)
●和泉市基本構想の策定について	総務文教常任委員会	可決 (全云云致)
●地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	総務文教常任委員会	可決 (全云云致)
●公の施設の指定管理者の指定について(和泉市立小栗の湯)	民生企業常任委員会	可決 (賛成多数)
●大阪府後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について	民生企業常任委員会	可決 (賛成多数)
●平成18年度和泉市一般会計補正予算(第2号)	各所管常任委員会	可決 (全云云致)
●平成18年度和泉市市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設常任委員会	可決 (全云云致)
●和泉市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	産業建設常任委員会	可決 (全云云致)

その他、報告2件、議案11件、諮問1件、監査報告9件、意見書4件が可決・同意等されました。

決算審査特別委員会での質問

ここでは紙面の都合上、質問項目の一部を掲載しています。

- 男女共同参画センターとシティプラザ図書館との連携について
- 経常収支比率について
- 人権文化センター運営費について
- エスコ事業導入について
- 危機管理室設置について
- 健康診断実施機関選定業務委託料について
- 和泉市人権協会助成金について
- 公文書再資源化処理委託料について
- 乳幼児医療費助成制度について
- 固定資産税（償却資産）の課税客体の調査方法について
- 公の施設の指定管理者選定委員会委員の構成について
- 粗大ごみ受付センターの人員体制について
- 自動車借上料について
- 障害者福祉タクシー事業について
- 十代で母親になる人のサポート体制について
- 樹木剪定委託料について
- 河川改修工事における自然環境、景観の保持について
- 職業能力開発事業委託料について
- 下水道使用料について
- 民間建築物耐震診断補助金について
- 公園の利用増進に向けての考え方について
- 農業協同組合営農育成補助金について
- 小中学校の空調機の設置状況について
- 我が町の子どもを育てよう事業委託料について
- 学校カウンセリングの実施及び利用状況について
- 留守家庭児童指導員の状況について
- 消防ヘリコプターの空中消化活動状況について
- 和泉市奨学金制度について
- 市民グラウンド用地の未解決問題について
- 英語指導助手報酬について
- 過年度保管金の内容について
- 老人保健事業会計歳入について

平成17年度会計別決算状況

区分	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(C) =(A-B)	翌年度へ繰越すべき財源(D)	実質収支額(E) =(C-D)
一般会計	509億9,169万5千円	508億 908万9千円	1億8,260万6千円	1億480万3千円	7,780万3千円
特別会計					
国民健康保険事業	139億3,401万5千円	139億9,505万6千円	△6,104万1千円	0円	△6,104万1千円
老人保健事業	116億 451万2千円	116億 7,628万円	△7,176万8千円	0円	△7,176万8千円
公共用地先行取得事業	4億6,888万7千円	4億6,888万7千円	0円	0円	0円
公共下水道事業	42億7,424万1千円	42億6,636万6千円	787万5千円	787万5千円	0円
市街地再開発事業	10億3,197万7千円	10億3,197万7千円	0円	0円	0円
介護保険事業	72億9,823万4千円	74億6,686万6千円	△1億6,863万2千円	0円	△1億6,863万2千円
小計	386億1,186万6千円	389億 543万2千円	△2億9,356万6千円	787万5千円	△3億 144万1千円
合計	896億 356万1千円	897億1,452万1千円	△1億 1,096万円	1億1,267万8千円	△2億2,363万8千円

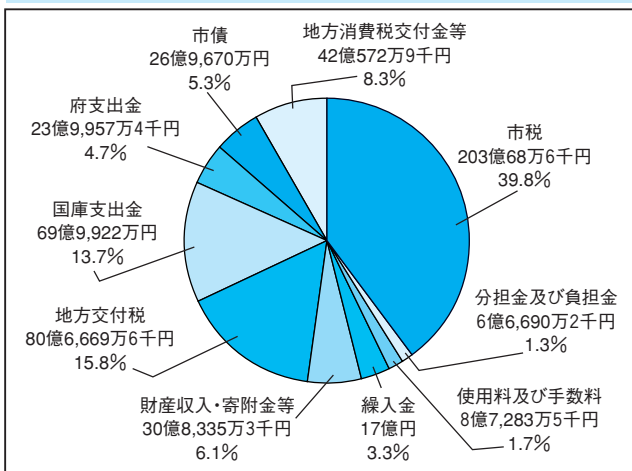
(△はマイナス)

平成17年度企業会計決算状況（消費税を含む）

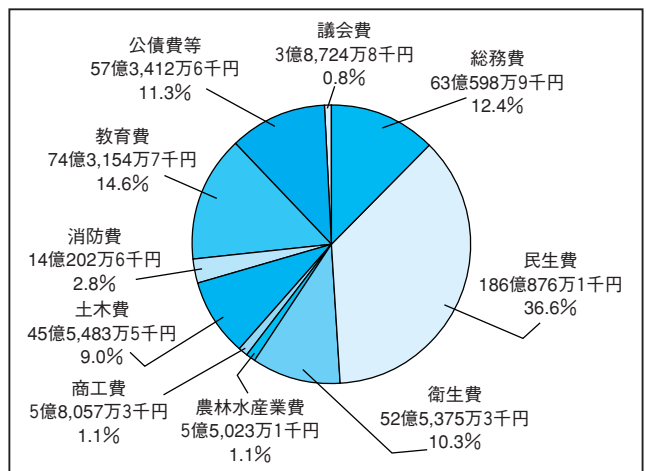
	総収入	総支出	差引額
水道事業会計	42億4,131万4千円	46億 820万6千円	△3億6,689万2千円
病院事業会計	71億5,198万4千円	80億6,978万6千円	△9億1,780万2千円

(△はマイナス)

平成17年度一般会計決算の歳入内訳
総額509億9,169万5千円（100%）



平成17年度一般会計決算の歳出内訳
総額508億908万9千円（100%）



一般質問



今定例会で行われた一般質問の内容をここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

子育て支援について (認定子ども園について)

【議員】「認定子ども園」条例が府議会で成立した。市の見解と、認定子ども園での保育料滞納での可能性と「保育に欠ける子」の対応を聞きたい。
【理事者】 市立幼稚園において

は、定員割れの園と抽選による決定をしている園があり、研究課題であるが施設面や人的な面から導入は難しい。保育園では、平成十七年三月に次世代育成支援対策行動計画を作成しており、この計画の前期期間（平成十七年～二十一年）においては、市として積極的に「認定子ども園」を設置する考えはない。施設と

の直接契約となるため、保育料滞納は退所を命ぜられる可能性がある。ただし保育に欠ける子については、市に保育実施責任があることから、一般の保育所に入所させるなど適切な措置が求められる。
【議員】 公的責任を果たすため、今後の進行管理について府との協議の場を設けるなど適切な対応を要望する。

学校間LANについて

【議員】 学校間LANについては、学校が大規模災害時の緊急避難場所等になることや、学校間の交流等々、有意義な活用が図れることから以前から申し上げてきたが、進捗状況について伺いたい。

【理事者】 各学校が持っている教材等の情報の共有化を図ることができ、授業や児童会、生徒会での子どもの交流、また災害時における情報の収集などに活用できると認識している。教育委員会としても、関係各課と連携しながら、引き続きLAN構築に向けて調査・研究をしてみたい。

【議員】 確かに、クリアしないといけない問題もあるが目途を決めてしっかりとやって頂きたい。

【理事者】 財政健全化のおりではあるが、出来得る限り年次のなご提示をさせて頂けるような取り組みを進めてまいりたい。

第四次和泉市総合計画について

【議員】 大阪外環状線沿道の土地利用方針について伺う。
【理事者】 広域幹線道路の沿道などは里山環境や農林業などの地域資源を活用し、地域の様々な意見も踏まえながら地域への集客やにぎわい作り、地域産業の振興など南部地域の活力創出に資する土地利用を誘導することと位置付けしている。計画を実施する為には地域住民の皆様や土地所有者等の理解と協力は必要不可欠なものであるため、平成20年度を目途に地元の皆様

に提案し意見等を聞いて参りたい。
【議員】 下水道計画区域外の生活排水対策（父鬼町・大野町の406世帯）の農業集落排水施設の整備計画と春木川町・福瀬町（10班）・仏並町（小川）・槇尾山町の104世帯についての浄化槽市町村整備推進事業計画の着手に向けた取り組みについて伺う。
【理事者】 農業集落排水施設については、事業実施の第一歩となる調査設計を平成19年に実施すべく、関係機関と協議を進めている。両事業は財政健全化計画の終了後に、速やかに事業着手して参りたい。

NPOセンターについて

【議員】 NPOについて和泉市の基本的スタンスはどうか。
【理事者】 和泉市第四次総合計画基本構想では、市民と行政の協働による地域社会の仕組みづくりを最重要施策とし、重要なパートナーとして多様な公共サービスの提供の担い手となるNPO団体との連携が不可欠と位置づけている。

【議員】 ボランティアプラザ「アイ・あいロビー」では原則NPOの登録を認めているが、市の考え方はどうか。

いが、市の考え方はどうか。
【理事者】 透明性があり非営利活動の趣旨に合致した活動をしているNPOの登録は積極的に認めていくが、運営推進協議会で検討すべきと考える。

【議員】 ボランティアもNPOももつと育てる必要がある。「アイ・あいロビー」をNPO支援センターにする考えは。

【理事者】 他市では、ボランティアとNPOが共に利用できる施設が多くある。その方法についても協議会で研究検討すべきと考える。

マタニティマークの導入について

【議員】母子保健の「健やか親子21」。取り組み課題の1つに「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保」がうたわれている。そこで推進検討会は、妊娠初期でも妊産婦と気づいてもらうための「マタニティマーク」を一般公募しデザインを決定した。特に妊娠初期の女性はつわりや流産の恐れに苦しんでいても、外見ではわかりにくく、外部からの配慮も期待できない。この様な妊産婦の悩みを解消するため、「マタニティマーク」の付いたストラップやキーホルダーを配布し妊産婦にやさしい環境を推進してもらいたい。

【理事者】妊産婦に対して、受動喫煙の防止のための周囲の協力や、各種交通機関における優先的な席の確保等、妊産婦が「マタニティマーク」を身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくすることが必要であると認識している。今後、配布できるように検討していく。

都市計画審議会における案件処理

【議員】線引き見直しの案件、5年に一度の調整区域から市街化区域への編入について、住宅開発を促進する民間業者の土地利用計画等要件が満たされて諮問したものと考える。その中の一件、池田下町の見直しについては疑義がある。①当初の代理人が解任され、提出していた計画図が返還されたにも拘らず、後日類似した図面が提出されたのは、市から第三者に提供したのでは。②開発と思われるような事前工事がなされている。③進入道路、事前開発の疑いで地権者、住民との間で

紛争が起きている。

【理事者】①計画図等漏洩の事実はない。②大阪府で開発行為でない旨を判断されている。③市民のトラブルについては承知していない。

【議員】全く同じと思われる図面が大阪府に提出されている。このような資料が審議会において審議されたのであれば問題だ。図面の漏洩は無いとの事だが事実関係が明らかになると思うが、著作権法違反、地公法に抵触する可能性がある。

泉州東部農用地整備事業について

【議員】治水の為にダムを造りながら、同じ流域で緑を破壊するこの事業は矛盾する。又費用対効果の面でも無駄な

公共事業の典型と考える。230億円をかけて建設する農道はその象徴である。和泉市で開発予定であった三つの団地が中止になったがその理由は、中止に伴う損失はいくらか。又誰が負担するのか。

【理事者】中止の理由はいずれも地元の合意形成が出来な



入札・契約制度の更なる改善を

【議員】不祥事事件以後、入札・契約制度の改善が進められてきたが、更なる改善が必要だ。例えば6月の水道部関係の入札で3件受注した業者が、契約課所管の分でも1件落札している。契約課と水道部関係の窓口の一元化は検討しているか。

【理事者】現在は別々に入札しているが、水道部を含めた窓口一元化することが望ましいので、法的に可能かどうか等検討して参りたい。

【議員】業者のランク付けや指名は、一つの発注事業について、判断しているものであ

かった為で、かかった経費の見込みは一億九百万円。国、府、市、地権者がそれぞれ負担することになるが、工事着工に至らなかったことから負担問題は関係機関と協議中である。

【議員】私はこの事業は今でも無駄な公共事業と考えてい

って、一業者の複数の受注には対応していないなど、まだ色々な問題点を抱えている。こうした入札結果を検証する機能はあるのか。

【理事者】入札結果の検証などは、現在行っていないが、今後設置予定の入札監視委員会をチェックして参りたい。

【議員】まだまだ多方面に渡り、問題点を抱えており、現在の制度改善に安住することなく、常に改革・改善を推進していくべきだ。



る。団地が少なくなり、道路も寸断された状態で当初の目的・機能が発揮されるか疑問である。完成後の評価を行うべきと考えるが。

【理事者】地元の方々の「農業」に対する熱い思いを感じている。一定の時期に評価を行いたい。

一般質問



和泉市立病院の現状について

【議員】市立病院に対する市民の信用・信頼が大きく揺らいでおり、18年度決算見込みでは15億円近い損失が見込まれ

ている。病院の存亡にかかわる状況である。病院の経営は医業収入に大きく依存するが、近隣市の公立病院の病床利用率と比べ和泉市立病院はかなり低い。近年の数値は。

【理事者】改修工事による病棟閉鎖や医師不足等により低下傾向にある。15年度77・8%、16年度70・0%、17年度71・5%、18年度上期61・6%である。尚、近隣病院の3ヶ年度平均は市立堺病院88・4%、岸和田市民病院95・5%、泉大津市立病院84・6%である。

【議員】医師の獲得と経営改善の見通しについて。

【理事者】医師確保については、大阪市立大学医学部をはじめ、近隣大学医学部等を積極的に訪問し、医師派遣を要請しているが、現在数値を示す段階に至っていない。経営改善については、既に院内に経営改善推進委員会を立ち上げ「医業収益の向上」を柱に業務の見直し、医療材料購入の一元化等、専門コンサルタントを交え、鋭意改善策の具体化を図り実施していく。

第4次和泉市総合計画での取り組み方針について

【議員】第四次和泉市総合計画の中で、北信大駅前再整備（北部コミセンへの北信大駅からタクシーが乗れず、交通便が悪い。）の位置づけと事業化の予定をお聞きする。

【理事者】この事業は大規模事業であり厳しい財政状態であるが、今取組んでいる府中駅前再開発事業の進み具合を勘

案しながら北信大駅前再整備は次に向けて最優先に取組むべき課題であると認識している。

【議員】府中駅前再開発事業は、平成二三年完了予定と聞いているが、それから計画を検討するのはなく間を空けず引き続き速やかに駅前の事業をお願いできるか。

【理事者】今後の事業化のために必要となる地元住民、業者等との調整、補助金の財源確保のための事業予定の研究、JR、警察などとの調整

など解決するべき課題が山積みしており、現在進んでいる府中再開発の進捗・財政状況を見極めて事前の調整、研究を進めて来るべき時期が来たら速やかに事業着手出来るよう検討を行なつてまいります。



非正規職員の問題について

【議員】和泉市における非正規職員の占める割合は、36%で増加している。内8割以上が女性である。現在の報酬額はいつ決定したものか。それまではどうなっていたのか。

【理事者】平成9年である。それ以前は、4年毎に改定されていた。

【議員】9年間も見直されずには、据え置きになっている理由は何か。

【理事者】正職員の給料が引き下げ傾向の中にあっても、現状を維持してきたという実情である。

【議員】非正規で働くシングルマザーの状況は深刻である。市職員として充分に力を発揮していただく配慮は必要になつてくるだろう。「和泉市特別職報酬等審議会」での審議を特別職と分けていただくか、定期的な開催をすべきではないか。また任期付短時間勤務職員採用など、多様な働き方と均等待遇に向けた取組みを積極的に行つてほしい。

障害のある方の雇用政策について

【議員】障害者自立支援法が施行され、生活支援に加えて、自立就労支援が大きな課題となっている。和泉市における、障害のある方の雇用や就労支援についてどのような施策が講じられているのかお示し下さい。

【理事者】就労支援相談・無料職業紹介事業・職業能力開発講座等を実施し支援している。また、障害者の職場適応支援を行うジョブコーチが不足しており、この育成を全国の市町村に先駆けて実施すべく検討中である。

【議員】障害があつても、色々な働き方を選ぶことが出来るように他の課とも連携をとって更に努力していただき、全国に先駆けてのジョブコーチ養成講座実施に向けてその取組みを推進していただくことを要望する。また地域就労支援事業・無料職業紹介事業についても、全国をリードする事業として充実される事を期待する。

市民プールの利用促進

【議員】本市の市民プールは、昭和四十二年に建設され施設設備ともかなり老朽化している。また、利用者も若干の増加はあるようだが、市民プールについての市の考え方は。

【理事者】施設改修については機械設備、シャワー設備、トイレなど改修をした。また横転防止の人工芝マットの設置や日焼け防止の簡易な日除け設備を設置した。水質管理については、地下水を水源としているので特に注意をはらっている。遊泳者の監視体制については、4名の体制で監視員の指揮監督業務マニュアルや事故等発生時の救急体制マニュアルを作成し利用者の安全確保に努めている。

【議員】今後の利用者促進についての対策は。

【理事者】水泳教室等の実施・競泳と遊泳のゾーンに分割・プール内等に色彩に配慮した絵を画く・浮き輪などの使用制限の緩和・幼児用滑り台の設置・終了時間延長等調査・研究する。

高齢者問題（要介護認定者の障害者控除）について

【議員】介護保険の要介護者に対する税の障害者控除適用はどの様に取扱っているのか。

【理事者】厚労省及び府の「高齢者の所得税、地方税上の障害者控除の取扱いについて」の通知に基づき、寝たきり老人は状況が確認できれば認定書を交付しており、それ以外は主治医の診断書または意見書を提出依頼している。

【議員】先の通知では「公平を欠くこととならないよう」と述べているだけで、認定書の発行自体は否定していない。むしろ「市町村であらかじめ方法を定めておくことが適当」とすら書いてあるが。

【理事者】要介護認定は障害者手帳認定とは判断基準が異なるため、要介護認定時の調査資料を基に身体障害者の等級表の何級かに相当するかを判断することは困難なことから考えるが、要介護認定を参考に障害者控除認定を行っている市があることから、今後調査研究していきたい。



その他の質問項目

- 飲酒運転について
- 育児支援について
 - ・通院における出産育児一時金の取扱について
- 青色防犯灯について
- 非常勤職員について
- 子どもの安全対策について
- 収入役の取扱いについて
- 公正な職務遂行問題について
- 小規模工事・耐震改修への助成問題について
- 学校の問題に関連して
 - ・子どもの人権保障について
 - ・学校給食について
 - ・首席制度導入について
- 入札における総合評価方式導入について
- 街路樹剪定について
- 不法屋外広告物等とまちづくり
- 「コミュニティバス」について
- 介護保険について
- 市立病院の経営問題について
- 食育について その後の進捗状況
- 総合的な学習の時間における英語活動について



意見書

今定例会では次の意見書4件が上程され、可決された意見書は、内閣総理大臣や関係する各大臣等に送付しました。

【可決】

- ◆「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書
- ◆食の安心・安全確保を求める意見書
- ◆療養病床の廃止・削減計画の中止を求める意見書

【否決】

- ◆国民健康保険制度を本来の社会保障制度にするための意見書



常任委員会審査報告

総務文教委員会

本委員会は12月7日に開催され、「和泉市長期継続契約に関する条例制定について」など、議案10件を審査の結果、いずれも原案どおり可決しました。

産業建設委員会

本委員会は12月6日に開催され、「南大阪湾岸北部流域下水道組合規約の変更について」など、議案3件を審査の結果、いずれも原案どおり可決しました。

民生企業委員会

本委員会は12月5日に開催され、「泉大津市、和泉市墓地組合規約の変更について」など、議案5件を審査の結果、いずれも原案どおり可決しました。



1 * 議員報酬を2%削減

市議会においては、本市の財政健全化計画の中、会派行政視察費用の削減等に取り組んでまいりました。

さらにこの度、第4回定例会において、議員提出議案として「和泉市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」を提案し、原案どおり可決され、平成19年4月1日から平成20年9月30日までの間、議員報酬の2%を減額する旨を決定しました。

2 * 研修会に参加しました

大阪府市議会議長会主催による第46回大阪府市議会議長会議員研修会が開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

日程：11月17日

場所：ホテル阪急エキスポパーク

講演：「これからの地方自治」

講師：大森 彌 氏(東京大学名誉教授)

3 * 視察に来られました

平成18年中に下記の市議会と他8市議会が本市を視察されました。

<市名及び視察事項>

◇埼玉県新座市

和泉シティプラザについて

◇兵庫県豊岡市

行財政改革プランについて

行政評価システムについて

◇徳島県徳島市

戦略計画化された総合計画の中でのSWOT分析について



傍聴してみませんか

場所：議場 本館3階(入口は本館2階資産税課横)

：委員会室 別館3階

定員：議場 40席

(車いすスペース

3台分)

：委員会室 7席

(音声傍聴 10名)



市議会では、市民の皆さまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴してください。

傍聴は、備え付けの傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで簡単にできます。

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できますが、定員を超える場合は抽選となりますのでご了承ください。

平成18年第4回定例会の本会議傍聴者数

12月4日(0人) 13日(24人)

14日(5人) 15日(2人) 合計31人

* 第1回* 定例会の予定

平成19年第1回定例会は、次の日程で開催される予定です。なお、議事の都合により日程や開会時間が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話：0725・41・1551(内線1722)

日程	会議	場所	開会時間
2月22日(木)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
3月1日(木)	本会議(議案審議)	議場	午前10時
3月2日(金)	民生企業委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月5日(月)	産業建設委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月6日(火)	総務文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月9日(金)	予算審査特別委員会	議場	午前10時
～16日(金)	(土・日は除く)		
3月19日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
3月23日(金)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
3月26日(月)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
3月27日(火)	本会議(議案審議)	議場	午前10時